

2017.7.10

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

アストンマーティン・レーシングが、V8 Vantage GTE のミニチュア・バージョンを製作

- V8 Vantage GTE のスペシャル・エディションが、Red Bull Soapbox Race に参戦
- 参加者は、スピード、創造性、娯楽性で評価。アストンマーティン・チームは、ルマンで優勝した V8 Vantage GTE の成功の再現を目指す



2017 年 7 月 7 日、ゲイドン(英国):

アストンマーティン・レーシングは、7 月 7 日(日)にロンドンのアレクサンドラ・パレスで開催される「Red Bull Soapbox Race」(レッドブル・ソーブボックス・レース)で、今年のルマン 24 時間レースでクラス優勝を果たした V8 Vantage GTE のスペシャル・エディションを発表しました。ソーブボックス・レースは、動力を持たない手作りカートで、障害物のある坂道を下っていくレースです。アストンマーティン従業員の有志チームは、「24 Seconds of Le Ally Pally」(アレクサンドラ・パレス 24 秒間レース)に参戦するため、V8 Vantage GTE のミニチュア・バージョンを製作しました。



ASTON MARTIN

アストンマーティン・レーシング社長のデイビッド・キングは、次のようにコメントしています。「これほど大きなプロジェクトに挑戦するためには、あらゆる能力と叡智を結集することが重要です。アストンマーティンの V8 Vantage GTE は、サーキットで大きな成功を収めていますので、ソーブボックス・レースに参戦するマシンを製作することは当然の決断でした。しかし、我々は、次の世界耐久選手権を来週に控えているため、このレースにオフィシャル・ドライバーを投入するわけにはいかないのが残念です！」

アストンマーティンは、レッドブル・レーシングと革新的なパートナーシップを成功させていますが、今回のイベントにおいて一切の優遇措置はありません。今回のレースは、参加者全員が同じ条件で戦うため、アストンマーティンのクルーは、最新の注意を払って準備を進めました。

104 年前、黎明期のアストンマーティン・レースカーは、ヒルクライム・レース用に設計されていたので、そのときの知識を活かすことが開発のポイントとなります。アストンマーティンの V8 や V12 エンジンのサウンドを愛する方々にはあまり良いニュースではありませんが、今回のレースでは、もっと静かなパワーソース（つまり重力！）が搭載されます。このマシンは、アストンマーティンがデザインとエンジニアリングを担当し、ニューポートパグネルのアストンマーティン・ワークスで製造されました。製作にかかわったのは、イベント好きの有志チームです。

参加者は、スピード、見た目、そしてデザインの創造性で評価されます。さらに、娯楽性でも判断されるため、その部分は、ルマン優勝ドライバーのダレン・ターナー（英）とジョニー・アダム（英）が手伝ってくれました。人を楽しませるのが大好きなこの 2 人のレーサーは、このミニチュア Vantage のレースにボランティアとして挑戦し続けている、アストン・マーティン・プロトタイプ・オペレーションズのシニア・エンジニア、アレックス・サマーズをサポートします。



ASTON MARTIN

「Red Bull Soapbox Race は何度も見ていますが、今回のレースはもっとも見ごたえのあるものになりそうです。このマシンが実際に走るところを早く見てみたいです」と、ターナー。「私が運転するのは絶対に無理ですが、勇敢なアレックスがコミカルに走るのを応援するのを楽しみにしています。アレックスが 24 秒間マシンをコントロールできることを願っていますが、もっとも重要なことは、最後まで無事に走りきることです！」

チケットは売り切れましたが、日曜日の 17 時(現地時間)から、Dave (Sky 111、Freeview 12、Virgin 127)でレースの模様を見ることができます。ファンの皆さまは、ウェブサイト (<http://www.redbullsoapboxrace.com/uk/en/team/24-seconds-of-le-ally-pally/>) から、アストンマーティン・レーシング・チームに投票することもできます。

V8 Vantage GTE スペシャル・エディションの画像は下記よりダウンロード可能です。
<https://we.tl/KZy28eWGfN>

###

詳しい情報は、ウェブサイト (www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)



ASTON MARTIN

メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム
今野 博文

Tel: 03-6434-5839

M: 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp

アストンマーティン・ジャパン
プレスオフィサー

坂本裕美

Tel: 03-5797-7295

M: 080-7950-2033

hiromi.sakamoto@astonmartin.com

アストンマーティン・アジア・パシフィック
マーケティング & PR
シニア・マネージャー

Dan Redpath

M: +65 8586 8083

<mailto:daniel.redpath@astonmartin.com>